

クリンテートFX-UVの効果確認試験



FX-UV 5月1日撮影



FX-UV 6月13日撮影



FX-UV 8月6日撮影



GM 5月1日撮影



GM 6月13日撮影



GM 8月6日撮影

試験目的

クリンテートFX-UVの効果確認試験

試験作物 及び品種

きゅうり

試験資材 及び数量(規格)

クリンテートFX-UV(0.1mm×800cm×68m)

慣行資材

クリンテートGM(0.1mm×800cm×68m)

栽培方法

定植日

慣行区:5月8日
試験区:5月8日

資材使用期間

4月下旬～10月下旬

試験区面積

505㎡

試験結果

(1)作業性について(慣行品との比較)

慣行区と比べ問題はなかった。

(2)作物の生育状況または、収穫への影響

試験区の方が透明度が高く温度の立ち上がりを感じた。

葉やけは、試験区、慣行区ともに発生したが、今年は猛暑で葉やけも例年並みの量だったので、フィルムによる影響とは考えにくい。

(3)栽培管理上の優位点あるいは問題点について

【優位点】：試験区の方が透明度が高く、温度の立ち上がりを感じた。どちらも防虫効果が高く、忌避効果を確認することが出来た。

(4)資材の強度・耐久性・崩壊性について

慣行品と差はなかった。

(5)促成・抑制効果について

慣行品と差はなかった。

(6)保温効果について

試験品の方が透明度が高い分、朝の温度の立ち上がり良かった。

(7)雑草・病害虫の発生について

どちらも防虫効果に有効で、忌避効果を確認することが出来た。うどんこ病やべと病もあまり見られなかった。また、裏面の被覆はUVカットフィルムではなかった。裏面を含め全面にUVカットフィルムを被覆した場合の効果はさらに高くなると考えられる。

モニター感想

作業性、生育差どれをとっても特に問題はなかった。

普段は天井フィルムを2年周期で更新しているので、来年以降も継続して効果を確認したい。

JA担当者の感想(総合推進室 側調査役)

モニター試験に関しては新しい資材を知ることが出来、非常に良い制度だと思う。

今後も良い資材があれば紹介してほしい。

今後の使用について

継続して使用したい。